

今年で29年目。男性編・女性編・夫婦編 延べ11,028名を掲載！

令和6年度 全国

長寿ボウラー番付

貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素よりボウリングに対し、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成8年よりスタートし今年で29年目となりました「令和6年度全国長寿ボウラー番付」をお送りいたします。

番付には、公益社団法人日本ボウリング場協会加盟の全国ボウリング場(8月1日現在336センター)を対象に、ボウリングを趣味として定期的(月1回以上)に親しまれている高齢者(男性編80歳以上、女性編75歳以上、夫婦編 合計年齢150歳以上)を調査し、まとめたものです。

本年度は、男性編・女性編合計9,494名、夫婦編767組(1,534名)を掲載しています。

◆送付資料の内容

※長寿ボウラー番付は「9月1日付」で発表

■各都道府県の【男性編】【女性編】【夫婦編】最高齢ボウラー(A3判)……………1枚
(都道府県別の【男性編】【女性編】【夫婦編】掲載者一覧を同封の方もあります)

＜参考資料ー1＞ 保齡球、ボウリングの効用

＜参考資料ー2＞ ボウリングの最新データ

＜参考資料ー3＞ トピックス

※昨年度から番付ポスターは以下のURLからダウンロードしていただくことになりました。

<https://bowling.or.jp/senior-ranking.html>

「長寿ボウラー番付ポスター」を加盟ボウリング場にて9月上旬より掲示するとともに、番付掲載者に「認定書」「番付ポスター」を各加盟センターの協力により、プリントアウトしたものを贈呈します。

※お取り上げいただく際には、下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

掲載紙等につきましても、下記までお送りくださいますよう重ねてお願い申し上げます。

発行：公益社団法人 日本ボウリング場協会

〒140-0004 東京都品川区南品川2-2-10 南品川Nビル 3階

TEL. 03-6433-0450/FAX. 03-6433-0451

<http://www.bowling.or.jp/> e-mail : bpaj@bowling.or.jp

《解説》長寿ボウラー番付

● 長寿ボウラーの定義

- ・ 実践状況……ボウリングを趣味として、「定期的に最低月1回以上」楽しまれている高齢者
- ・ 年齢……令和6年9月1日現在の満年齢で
 - 【男性編】 男性80歳以上（昭和19年9月1日までの生まれ）
 - 【女性編】 女性75歳以上（昭和24年9月1日までの生まれ）
 - 【夫婦編】 夫婦の合計年齢150歳以上

表1. 【男性編】【女性編】【夫婦編】の各年齢区分と令和6年度番付掲載者数

	【男性編】 80歳以上	【女性編】 75歳以上	【夫婦編】 合計150歳以上
横綱	90歳以上……283名	88歳以上……272名	170歳以上……96組
大関	87～89歳……527名	85～87歳……492名	166～169歳……98組
関脇	85・86歳……606名	83・84歳……605名	164・165歳……56組
小結	83・84歳……977名	80～82歳……1,327名	160～163歳……156組
前頭	80～82歳……1,637名	75～79歳……2,766名	150～159歳……361組
小計	4,030名	5,462名	767組
合計	9,494名		1,534名

※長寿ボウラー番付は、協会加盟のボウリング場（令和6年8月1日現在336センター）からの登録を7月中旬に実施し、それをまとめ制作したもの。
“長寿ボウラー”のいるボウリング場は、219センター。

● 長寿ボウラー番付29年の歩み

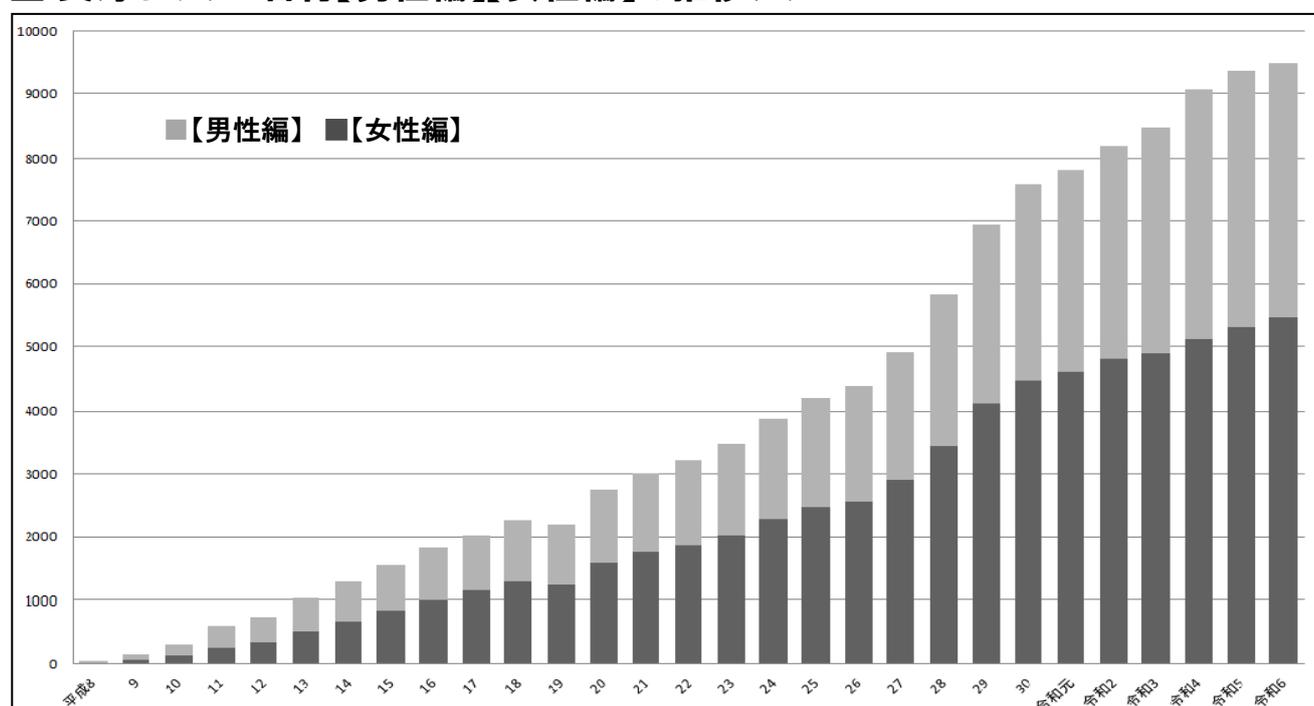
- ① 平成8年6月、静岡県の谷澤三之助さん（当時93歳）らをきっかけに、全国的な番付を発売し、長寿ボウラー番付がスタート。この年「成人病」から「生活習慣病」への名称変更が決定された。
- ② 平成10年より、番付の年齢基準を＜男性80歳以上／女性75歳以上＞と設定。
- ③ 平成12年より、【夫婦編】の年齢基準を＜夫婦合計150歳以上＞と設定。
- ④ 平成13年、【男性編】【女性編】の合計人数が1,000人を突破。
- ⑤ 平成15年、【男性編】【女性編】の合計人数が1,500人を突破。
「レジャー白書」の男性60代以上の参加率が15%を超える。
- ⑥ 平成16年7月27日、日本最高齢ボウラー・谷澤三之助さんがご逝去。享年101歳。
谷澤さんは16年度番付けで“終身名誉横綱”への昇進が決定していた矢先のこと。
- ⑦ 平成17年、【女性編】が1,000人、【男性編】【女性編】の合計人数が2,000人を突破。
- ⑧ 平成20年、【男性編】【女性編】【夫婦編】の延べ人数が3,000人を突破。
- ⑨ 平成26年、【男性編】【女性編】【夫婦編】の延べ人数が5,000人を突破。
- ⑩ 平成28年、【男性編】【女性編】【夫婦編】の延べ人数が6,500人を突破。
- ⑪ 平成30年、【男性編】【女性編】【夫婦編】の延べ人数が8,700人を突破。
- ⑫ 令和4年、【男性編】【女性編】【夫婦編】の延べ人数が10,000人を突破。
- ⑬ 令和6年、【男性編】【女性編】【夫婦編】の延べ人数が11,000人を突破。

表2. 長寿ボウラー番付／番付掲載者の年推移(数字は人数)

	【男性編】	【女性編】	男女合計		【男性編】	【女性編】	男女合計
平成 8年('96)	40	14	54	平成23年('11)	1,469	2,019	3,488
平成 9年('97)	95	65	160	平成24年('12)	1,609	2,275	3,884
平成10年('98)	177	141	318	平成25年('13)	1,729	2,478	4,207
平成11年('99)	338	269	607	平成26年('14)	1,847	2,565	4,412
平成12年('00)	404	352	756	平成27年('15)	2,012	2,901	4,913
平成13年('01)	511	517	1,028	平成28年('16)	2,383	3,454	5,837
平成14年('02)	623	673	1,296	平成29年('17)	2,813	4,127	6,940
平成15年('03)	693	859	1,552	平成30年('18)	3,100	4,497	7,597
平成16年('04)	835	988	1,823	令和元年('19)	3,194	4,623	7,817
平成17年('05)	883	1,143	2,017	令和2年('20)	3,395	4,798	8,193
平成18年('06)	982	1,288	2,270	令和3年('21)	3,593	4,896	8,489
※平成19年('07)	958	1,235	2,193	令和4年('22)	3,945	5,119	9,064
平成20年('08)	1,169	1,580	2,749	令和5年('23)	4,056	5,308	9,364
平成21年('09)	1,245	1,763	3,008	令和6年('24)	4,030	5,462	9,494
平成22年('10)	1,359	1,859	3,218				

※制作会社の不祥事でデータを取り直した。

■ 長寿ボウラー番付【男性編】【女性編】の推移グラフ



長寿ボウラー増加の理由

※ここ数年番付掲載者が増加している理由としては

- ボウリングブームの際に、一度はボウリングに触れた経験を持つ世代が、高齢者向け「ボウリング教室」「体験ボウリング」へ参加されたのをきっかけに、シニアクラブに加入されたり、「月例会」「リーグ戦(毎週開催の総当たり戦)」等に参加し、趣味として非常に多くの方がボウリングを楽しまれるようになった。
- 女性ボウラーの増加。●健康志向の高まりとともに、番付ボウラーの認知度も高まり、番付に掲載されることをめざす方が増えている。

《参考資料－1》保齡球、ボウリングの効用

公益社団法人日本ボウリング場協会では、小冊子「ヘルシーボウラー「徹底検証！ボウリングと健康の科学」第1弾・ヘルシーボウラー「ダイジェスト版」を発行しております。
必要な方にはお送りいたしますので、ご連絡をお願いいたします。

■ ボウリングは中国語で“保齡球”

ボウリングの英語表記はBOWLINGですが、中国語では保齡球。

イギリスの詩人 Charles Cotton は1964年に出版した著書の中で『ボウリングは適度に行えば健康によく、陽気になり、必然的に生まれる闘争心はやがて一生の友をつくるきっかけとなるものである』と称賛しました。ボウリングを趣味として、楽しく健康な毎日を過ごしておられる長寿ボウラーのみなさんは、まさに人生の達人です。

■ ボウリングの効用

ボウリングは、21世紀における国民健康づくり活動、「健康日本21」の『身体活動・運動』の中で「高齢者の健康づくりのための軽スポーツ」としても紹介されています。

ボウリングは、おしゃべりしながら楽しめる適度な運動量で、しかも健康維持にも効果的です。“定期的にボウリング場に通う”ことが、歩くことや認知症予防にもつながります。また単にからだによいばかりでなく、人生を豊かなものにしてくれる仲間や生きがい、こころの健康づくりも実現します。
本格的に、趣味としてボウリングを始めてみませんか！

お薦めしたいボウリングの効用は以下の4点に集約できます。

からだの健康	<ul style="list-style-type: none">● 適度な運動量、健康維持に効果的な有酸素運動です● 楽しみながら、運動不足の解消、生活習慣病の予防を● 何歳からでも始められ、生涯現役で一生続けられます
仲間づくり	<ul style="list-style-type: none">● 家族や友達とのコミュニケーションを促進します● 年齢を超えた趣味の仲間ができます● 若い人との交流は人生を2倍楽しくします。
生きがいづくり	<ul style="list-style-type: none">● 気軽だが奥行きもあり、自分のレベルやペースで楽しめます● 明日はもっと良いスコアを…と前向きに取り組めます● 競技スポーツとして、国体やアジア大会の正式種目です
こころの元気	<ul style="list-style-type: none">● ストライクで気分すっきり！ ストレス解消に● 笑顔は健康の源。笑いはこころを元気にします● 週1～2回の定期的な実践で、暮らしにハリを

《参考資料－2》ボウリングの最新データ

【1】ボウリング場数……………631(2024年8月1日現在、(公社)日本ボウリング場協会調べ)
 【2】ボウリング参加人口……………480万人(「レジャー白書2023」)

【1】ボウリング場数 関連

■ ボウリング場数の推移 (公社)日本ボウリング場協会調べ

西暦(元号)	センター数	レーン数
1969(昭和44)	970	23,010
1970(昭和45)	1,381	35,136
1971(昭和46)	2,226	64,022
1972(昭和47)	3,697	121,021
1973(昭和48)	3,515	113,281
1974(昭和49)	2,375	71,629
1975(昭和50)	1,289	36,417
1976(昭和51)	879	24,721
1981(昭和56)	1,031	28,770
1982(昭和57)	1,061	29,600
1995(平成7)	1,102	31,479
1998(平成10)	1,174	34,047
2006(平成18)	1,015	29,095
2007(平成19)	1,003	28,667
2008(平成20)	988	28,372
2009(平成21)	970	27,899
2010(平成22)	958	27,593
2011(平成23)	926	26,841
2012(平成24)	917	26,598
2013(平成25)	901	26,104
2014(平成26)	849	24,791
2015(平成27)	835	24,241
2016(平成28)	784	22,841
2017(平成29)	777	22,641
2018(平成30)	758	22,041
2019(令和元)	738	21,343
2020(令和2)	717	20,777
2021(令和3)	673	19,566
2022(令和4)	672	19,440
2023(令和5)	659	19,048

★1952年12月20日
 東京ボウリングセンター開場。
 2002年で50周年
 昭和40年代の大ブーム時のピーク

1976年(昭和51年)～1980年(昭和55年)の
 5年間は、1,000未満で推移

1982年(昭和57年)以降2007年(平成19年)
 までセンター数1,000以上をキープ!

※ 各年のデータは12月31日現在

【2】ボウリング参加人口 関連

「レジャー白書2023」によると、2022年のボウリング参加人口は、480万人(前年比30万人増)。スポーツ部門の参加上位種目では多くの種目で参加人口が減少。増加は「ボウリング」「スキー」「スノーボード」などだった。

■ ボウリング参加率 性別・年代(「レジャー白書2023」公益財団法人 日本生産性本部)

性別	男性(2022年度)							女性(2022年度)						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
参加率(%)	15.5	8.3	5.2	6.2	3.3	4.1	8.4	11.7	8.4	2.7	3.1	1.4	2.5	2.4
男女別(%)	6.4							3.6						
全体(%)	5.0													

健康スポーツとしてボウリングを続ける熱心な長寿ボウラーの数は年々増加している。最高齢の横綱は男女共100歳となっている。また、天候に関係なく手軽に参加できるボウリングは、コミュニケーションの場として若い世代にも浸透している。

《参考資料-3》トピックス

■ 長寿ボウラー 男性、女性とも100歳横綱が！

令和6年度「全国長寿ボウラー番付」で男性も女性も100歳の横綱が1名ずつ、男性では99歳の横綱が3名、女性では99歳の横綱が1名おられます。

健康に気をつけて、末永くお楽しみいただきたいものです。

■ 大泉洋さんが「令和6年 ボウリング・マスメディア大賞」グランプリに！

4年ぶりの「ボウリング・マスメディア大賞」は、俳優・タレントの大泉洋さんが受賞。ご自身が出演している番組内で、エスコンフィールド北海道の球場内に特設レーンをつくり、公開試合を開催するなど、ボウリングの楽しさや魅力を広めていただき、ボウリング業界のイメージアップに貢献いただきました。

■ 第56回宮様チャリティーボウリング大会の開催

宮様チャリティーボウリング大会は、昭和42年4月9日に三笠宮崇仁親王殿下御台臨のもと、第1回大会が開催されました。

第11回大会から大会名誉会長に寛仁親王殿下をお迎えし、身体障害者クリニックが開始され、第47回大会からは三笠宮家の瑤子女王殿下が初めて御台臨なされ、今年11月23・24日に開催される大会にも御台臨予定です。

この大会には、全国からトップボウラーが一堂に会し、寛仁親王杯、親王妃杯を目指し熱戦が繰り広げられますと同時に、(社副)友愛十字会、(公社)日本プロボウリング協会のご協力のもと、障害者の部のボウリングクリニック、個人戦、スカッチ戦が行われます。

■ 桑田佳祐氏 作詞・作曲のボウリング競技公式ソング！

自らも、ボウリングをこよなく愛するプレイヤーのひとりである、桑田佳祐氏の作詞・作曲によるボウリング競技公式ソング「レッツゴーボウリング」「悲しきプロボウラー」。

CDジャケットは、ボウリングシャツ姿の桑田さんのイラスト画。

■ 坂本龍馬は日本人ボウラー第1号であった！・・・かも知れない？

1861年6月22日「ザ・ナガサキ SHIPPING リスト・アンド・アドバタイザー」にアメリカ人ヘンリー・ギブソンの「インターナショナル・ボウリング・サロン、本日オープン」という広告記事が掲載されました。

1864年に龍馬はグラバーと親しくなり長崎で活躍。グラバー邸はボウリング・サロンのすぐ近くにあり、新しいもの好き龍馬ならボウリング・サロンに出入りしていた可能性は十分？！

■ 「日本ボウリング史料館」においでください

日本ボウリング史料館は、ボウリングをスポーツ文化として理解し、親しんでいただくために1995(平成7)年6月22日の“ボウリングの日”に開館しました。1861年から始まる日本のボウリングの歴史を中心に、常設展示として「須田開代子の軌跡」「粕谷コレクション」の他、シャツ、バッジ、ワッペン等のグッズを展示してあります。ぜひ一度お越しください。また、ホームページ上には「ボウリングミュージアム」を開設し、いつでもボウリングのアイテムがご覧いただけます。

※説明等が必要な場合は、電話にて事前予約が必要です。

日本ボウリング史料館 所在地	【書籍関係】 公益社団法人日本ボウリング場協会内 【開館時間】 平日13:00~17:00 東京都品川区南品川2-2-10 南品川ビル 3階 電話 03-6433-0450
	【ツール・グッズ関係】 STAR LIKE BOWL内 龍ヶ崎市小柴5-1-2 サプラスクエア2階 電話 0297-63-2230